

ピース・ウイング長崎

平和のあゆみ

(令和6年度 事業報告)



被爆80年記念事業 「核兵器廃絶」を願う大型看板広告電車

公益財団法人 長崎平和推進協会

Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace

Contents

公益財団法人 長崎平和推進協会	1
みんなで平和の輪を広げましょう！	
設立の意義	
沿 革	
事 業	
会 員 制 度	
組 織 図	
会員制度について	2
寄附金について	2
会費及び寄附金の税額控除について	3
I 平和推進事業	
1 広報事業	4
2 啓発事業	5
3 継承事業	7
4 育成事業	9
II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業	12
III 収益事業	14
理事・評議員・監事について	14
公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き	15

※当協会の愛称「ピース・ウイング長崎」は広報紙や全国公募ガイドなどを通して呼びかけ、決定したものです。「長崎から平和を訴えていくための翼となってほしい」という願いが込められています。



公益財団法人 長崎平和推進協会

みんなで平和の輪を
広げましょう！

設立の意義

原子爆弾の惨禍を身をもって体験した長崎市民は、国境を越え、人種を超え、考え方の相違を乗り越えて、全世界に向かって恒久平和の実現を訴える責務があります。

全ての社会秩序の根幹は平和であり、平和でなければ、文化の向上も、科学の進歩も、経済の発展も望めません。しかし、現実の世界情勢は、核兵器の増加拡散が、また局部的な紛争や東西間の緊張がとどまることなく続いています。

長崎市は人類史上最後の被爆地でなければなりません。長崎市民は、全人類的な視野に立って、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するとともに、人類の福祉に貢献することが必要であると考えます。
(昭和59年 設立趣意書から掲載)

沿革

長崎市は、原爆被災都市ナガサキの使命として、従前から長崎市の固有事務として各種の平和推進のための施策を行ってきました。

しかし、行政独自では種々のあい路があることから、この施策をさらに効果的に施行するために、昭和58年2月、広く市民の参加を求め、初代理事長秋月辰一郎氏の「小異を残して大同に集まる」という理念のもと官民一体となった任意団体長崎平和推進協会を発足させ、被爆体験の継承をはじめ、平和に対する意識高揚のための事業に取り組んでまいりました。

長崎市民の悲願である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現という究極の理念達成のためには、さらに確固たる目的をもって永続性のある公益性の高い平和推進体制を樹立し、文化を基調とした事業を通じて、幅広い見識と高い知性の国際感覚に優れた市民を育成することが望まれます。

このような理由から昭和59年4月1日、財団法人長崎平和推進協会を設立しました。以来、長年にわたって被爆体験講話をはじめさまざまな平和推進事業を展開してきました。平成21年4月1日には、財団設立25周年を迎え、同年度中には記念式典や継承シンポジウムなど多彩な記念事業を行いました。

そうした中、100年ぶりともしられる公益法人(財団法人・社団法人)の制度改革が行われることになり、平成20年12月1日には公益法人改革関連3法が施行されました。当協会は、業務の内容や組織の性格からも公益財団法人に移行することを目指し、2年間ほどの準備を経て、平成23年4月1日に公益財団法人として設立することができ、新たな歩みを始めました。

事業 ※定款から掲載

- (1) 平和に関する諸問題の調査研究
- (2) 原爆被災並びに平和に関する資料の収集、整理、活用及び情報発信
- (3) 被爆体験の継承並びに平和に関する講座、講演会等行事の開催
- (4) 国際平和機関との連携交流
- (5) 被爆体験の継承や平和意識高揚のための助成事業
- (6) 平和に関する出版物の刊行・頒布及び受託販売
- (7) 平和意識の普及に係る物品等の製作・販売
- (8) 法人の目的に適合する諸施設の管理運営等に関する受託事業
- (9) その他法人の目的を達成するために必要な事業

会員制度

(令和7年3月31日現在)

会費	維持会員(個人)	年会費	3,000円以上
	賛助会員(団体・個人)	年会費	1口10,000円
	学生会員	年会費	無料

(会員についての詳細は2ページに掲載)

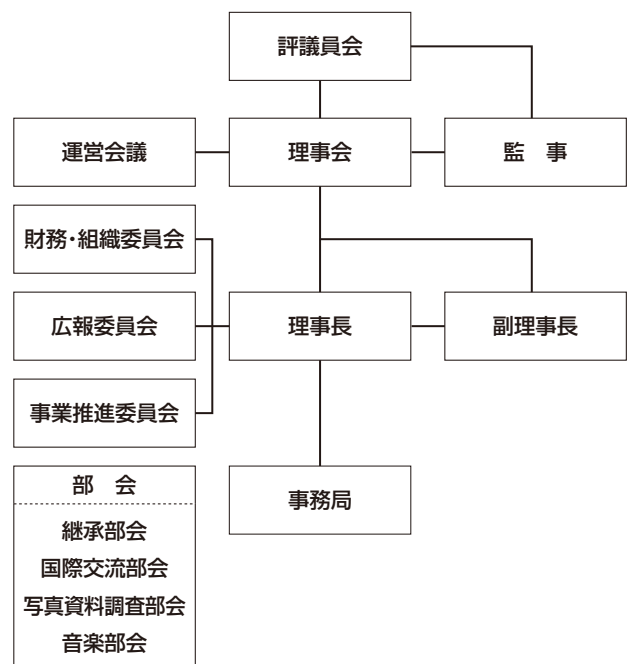
会員による部会活動

会員が協会の事業目的を広く周知啓発するとともに円滑な事業遂行に寄与する。

- ①継承部会
- ②国際交流部会
- ③写真資料調査部会
- ④音楽部会

組織図

(令和7年4月1日現在)





会員制度について

核兵器の恐ろしさや平和の尊さを次の世代に伝えていくために、協会では様々な平和への取り組みを行っています。この活動は、長崎市からの補助金等の他、会員の皆様からいただいた会費に支えられています。

会員制度には、個人の方を対象とする「維持会員」、団体・個人の方を対象とする「賛助会員」、会費無料の「学生会員」の3つがあります。会員募集は随時行っており、協会Webサイトでの案内の他、イベント等でのチラシ・リーフレット配布等で周知活動を行っています。

会費については令和5年度よりコンビニエンスストアでのお支払い、協会Webサイトからのクレジットカード決済ができるようになりました。

【会員制度と登録者数（令和7年3月31日現在）】

会員制度	年会費	登録者数
維持会員	3,000円以上	1,071
賛助会員	1口10,000円	181
学生会員	無料	96

※学生会員は令和5年4月1日から年会費無料

【会員特典】※学生会員にはエコバッグは送りません 会報「へいわ」はEメールで送ります

- ・会員証とエコバッグ送付
- ・会報「へいわ」、ブックレット「平和のあゆみ」送付
- ・書籍・オリジナル商品10%オフ（一部適用外）
- ・長崎原爆資料館内「ピースカフェ」5%オフ
- ・長崎の感動する中華料理店 寶來軒でのプチプレゼントサービス
- ・i+Land Nagasakiでの天然温泉大浴場+岩盤テラス利用料金を大人500円、小学生300円に割引（スパテーマパーク利用時はいずれも+200円）
- ・Studio One Nagasakiでの証明写真50%オフ、記念撮影30%オフ
- ・御菓子司 松貴堂での購入代金5%オフ
- ・（株）龍屋本舗 園田真珠で販売している真珠全商品10%オフ



会員特典などについてはコチラ

寄附金について

当協会では、平和関連事業に取り組んでいくために、広く皆様からの寄附金を募集しています。令和5年度より協会Webサイトからの手続き、クレジットカード決済ができるようになりました。

令和6年度は、下記の方々よりご寄附をいただきました。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。



寄附金について詳しくはコチラ

令和6年度 寄附者一覧（敬称略・金額順）

・内野雄太 3,000,000円	・宝塚市立安倉中学校 10,000円	・シミズアキコ 5,000円
・（株）ひろたか 130,000円	・古井智晴 10,000円	・高比良則安 4,580円
・早水文子 100,000円	・平和町商店街振興組合 10,000円	・白鳥純子 4,322円
・丸形るみ子 100,000円	・丸田和男 10,000円	・廣瀬悦久子 3,000円
・深町朋裕 40,000円	・三根礼華 10,000円	・松本由美子 3,000円
・松川 綾 40,000円	・茂木中学校MIRAI 10,000円	・土井まゆみ 2,000円
・故・生野 實 30,000円	・森田博満 10,000円	・相澤美智子 1,000円
・浜本 雅 30,000円	・山下勝久 10,000円	・石郷岡政広 1,000円
・益子英子 20,000円	・山中弘幸 10,000円	・竹下淳也 1,000円
・東 一夫 10,000円	・リベリアール 9,000円	・富永聖史 300円
・小川貴尋 10,000円	・北城祐二 7,000円	・匿名寄附（12件） 119,000円
・上西和紀 10,000円	・イシワダケイ 5,000円	
・川上正徳 10,000円	・木村恵美子 5,000円	
		【合計 3,790,202円】



賛助会員一覧（団体・法人 敬称略）

飽の浦地区民生委員児童委員協議会／旭丘高校の教育を守る会／朝日地区民生委員児童委員協議会／(株)アルテック情報システム／(株)イケシタ工建／(株)イシマル／(株)イナヅマ電気工事／(株)岩永印刷所／岩屋地区民生委員児童委員協議会／(株)インテックス／(学)ヴィアトール学園 洛星中学校／(株)V・ファーレン長崎／AGメンテナンス(株)／(株)NSNプランニング／(株)NCC VERE／(株)NDKCOM／NBC情報システム(株)／(株)NBCソシア／(株)エビス堂／扇精光ホールディングス(株)／オックス総合リース(有)／オリエンタルビル管理(株)／オリエント産業(株) 長崎支店／(株)オリオン電防／核戦争防止国際医師会議 長崎県支部／核兵器廃絶・平和建設 長崎県民会議／勝山地区民生委員児童委員協議会／カトリック長崎大司教区／上長崎地区民生委員児童委員協議会／(株)かわち家／川平地区民生委員児童委員協議会／機電プラント工事(株)／(株)九州広告／(一財)九州電気保安協会／九州労働金庫／Q-bicソリューションズ(株)／崎陽電気(有)／琴海地区民生委員児童委員協議会／(株)クイックプリント／(医)倉田醫院内科婦人科／(一財)クリーンながさき／(医)行清会 欽先医院／原水爆禁止長崎県協議会／原水爆禁止長崎県民会議／原爆被爆者特別養護ホーム かめだけ／光源寺／小ヶ倉地区民生委員児童委員協議会／小榊立神地区民生委員児童委員協議会／後藤俊一事務所／西部ガス労働組合 長崎支部／さかい酒舎／坂本地区民生委員児童委員協議会／(株)三工電機／(株)JR長崎シティ／自治労長崎市役所職員労働組合連合会／(株)事務機のミカドヤ／(株)十八親和銀行／純心中学校・純心女子高等学校／常在寺／(株)城保安警備／情報労連長崎県協議会／昭和地区民生委員児童委員協議会／(株)昭和堂／新興善地区民生委員児童委員協議会／(株)親和電機商会／(株)スターライト／(有)正文社印刷所／SEVEN HEARTS／全国公益法人協会／銭座地区民生委員児童委員協議会／(株)大和総業／高尾地区民生委員児童委員協議会／たちばな信用金庫長崎中央支店／(株)龍屋本舗／(株)司コーポレーション／田園調布雙葉中学高等学校 学校行事部／土井首地区民生委員児童委員協議会／桃原寺／東武トップツアーズ(株) 長崎支店／(一社)東友会／磨屋地区民生委員児童委員協議会／(一財)長崎YMCA／(株)長崎ガードシステム／(株)長崎環境美化／(株)長崎銀行／長崎県映画センター／(一財)長崎県教育会／長崎県建設産業労働組合／(公財)長崎原子爆弾被爆者対策協議会／長崎県生活協同組合連合会／(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会／長崎原爆遺族会／長崎県被爆者手帳友の会／長崎県平和運動センター／(一社)長崎国際観光コンベンション協会／(株)長崎国際テレビ／長崎市管工業協同組合／(一財)長崎市勤労者サービスセンター／長崎市社会福祉協議会／長崎市小学校校長会／(公社)長崎市シルバー人材センター／長崎市中学校校長会／長崎自動車(株)／(一社)長崎市保育会／長崎県民生委員児童委員協議会／長崎市役所従業員組合／長崎市役所職員生活協同組合／長崎商工会議所／(株)長崎消毒社／長崎市老人クラブ連合会／(株)長崎新聞社／(一社)長崎青年会議所／(一社)長崎青年協会／長崎西彼農業協同組合／長崎ダイヤモンドスタッフ(株)／長崎地区労働組合会議／長崎でじま青果(株)／長崎電化サービス社／長崎電気軌道(株)／(株)長崎ビジョン／(株)ながさきプレス／長崎放送(株)／(有)ナカノコーポレーション／滑石地区民生委員児童委員協議会／(株)日工／日本通運(株) 長崎支店／日本放送協会 長崎放送局／日本空調サービス(株) 九州支店／日本図書輸送(株) 福岡営業所／日本労働組合総連合会長崎県連合会／(株)橋本商会／(医)康仁会 林医院／(株)ピーエス・クリエティブ／(特非)ピースデポ／ピースボート／(株)日立ビルシステム／日見地区民生委員児童委員協議会／(一財)広島国際文化財団／(株)ひろたか／(株)福広／(有)宝栄／寶來軒／丸美産業(株)／三重地区民生委員児童委員協議会／南大浦地区民生委員児童委員協議会／ミライト(株)／純心聖母会 恵の丘長崎原爆ホーム／山里地区民生委員児童委員協議会／(株)大和屋／友愛会長崎リハビリテーション／(社福)基督教友愛館 友愛富士見町保育園／横尾地区民生委員協議会

会費及び寄附金の税額控除について

当協会は特定公益増進法人に該当するため、協会会費・寄附金は、所得税・法人税等の税額控除の対象となります。確定申告時に、「会費領収証（振替払込請求書兼受領書）」または「寄附金領収書」とともに、当協会所管庁が発行した「税額控除に係る証明書」をご提出ください。

詳しくは、協会Webサイトをご覧ください。



I 平和推進事業

1 広報事業

① 会報等の発行

【会報「へいわ」の発行（年4回）】 令和7年3月現在 185号発行

協会の事業活動や平和に関する最新情報を提供するとともに、会員のコミュニケーションを図るための機関誌として会報「へいわ」を3か月おきに発行しています。

- 1回あたりの発行部数 2,300部（A4判 8ページ）

【ブックレット「平和のあゆみ」の発行（年1回）】

協会が行った事業の内容や1年間の出来事をまとめたブックレット「平和のあゆみ」を毎年5月に発行し、会員や関係各機関へ送付しています。

- 1回あたりの発行部数 1,700部（A4判 16ページ）

【情報BOXの発行（年8回）】 令和7年3月現在 287号発行

イベントの開催予定など最新情報の他、実施した行事の報告などを掲載した「情報BOX」を作成し、理事・監事・評議員・部会員などに送付しています。

- 1回あたりの発行部数 約150部（A4判 両面1ページ）

【協会会員入会案内リーフレットの作成】

協会の事業内容の紹介とともに、事業活動の状況や会員特典などを説明した「協会会員入会案内リーフレット」を作成し、会員拡大を図るためイベント等で配布しています。



② ホームページ等広報

【Webサイト】

当協会の設立趣旨、事業概要などの紹介、会報「へいわ」・ブックレット「平和のあゆみ」などのバックナンバー、最新のイベント情報などを掲載しています。

Webサイト上の「講話予約システム」の機能を向上させ、被爆体験講話や家族・交流証言講話のオンライン予約を、多くの方に利用いただいています。



協会Webサイト

【SNS等での情報発信】

- LINE 協会イベントの案内、協会に関する最新情報、企画募集の告知などを発信
- Instagram 青少年ピースボランティアの日頃の活動などを紹介
- YouTube 被爆者証言映像「8月9日の記憶」、ピースボランティアによる「千羽鶴」合唱動画、平和案内人らによる碑めぐり動画などを公開

- LINE、Instagram、YouTubeの二次元コードは「裏表紙」に掲載しています。





2 啓発事業

① 平和学習（被爆体験講話）の実施

長崎市内を訪れる修学旅行生や一般団体、長崎市内の小中高校、市外への派遣などの依頼を受け、被爆者（継承部会員）が自らの被爆体験や平和の大切さをお話する「被爆体験講話」を実施しています。

令和6年度は長崎を訪れる外国人から被爆体験講話を聞きたいとの依頼が増え、昨年より多く英語での講話を実施しました。



被爆体験講話の様子

被爆体験講話の年度別件数

年 度	講話件数
令和元年度	1,168
令和2年度	495
令和3年度	695
令和4年度	1,092
令和5年度	989
令和6年度	952

令和6年度 講話件数・受講人数 内訳

区 分	講話件数			受講人数
	全体	うち市内	オンライン	
小 学 校	455	44	0	37,318
中 学 校	242	12	1	34,062
高等学校	150	0	3	28,228
一 般	105	0	3	6,142
計	952	56	7	105,750

※表中の「うち市内」は、長崎市内の小学校・中学校・高校・一般の講話件数

※ピースネットの実績は、13ページをご覧ください。

【長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業】

長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」では、被爆者（継承部会員）が県内の小中学校や県内外の大学を訪れ、被爆体験をお話ししています。コロナ禍以降オンラインでの講話が増えています。

県内市町（小中学生対象） ※（ ）内はオンライン

派遣市町	回数	受講人数	派遣市町	回数	受講人数
佐世保市	1回	50	五島市	3回(うち3回)	541
島原市	2回(うち1回)	309	西海市	2回	386
諫早市	2回(うち1回)	740	長与町	2回(うち1回)	397
平戸市	2回(うち2回)	140	時津町	1回(うち1回)	66
松浦市	1回	242	波佐見町	2回	176
対馬市	2回(うち2回)	103	佐々町	1回(うち1回)	494
壱岐市	1回(うち1回)	152			

県内外大学（留学生対象）

派遣大学	回数	受講人数
九州大学	1回	100



【被爆者証言ビデオ】

被爆者（継承部会員）の被爆場所や当時の自宅周辺などを訪れ、被爆前の生活や被爆直後の様子、家族の話、被爆後の暮らしなどを語る「被爆場所等で語る被爆証言映像 8月9日の記憶」を作成しています。

このビデオは、平和学習を実施する学校・団体等へ無料で貸し出す他、協会YouTubeで公開しています。

令和6年度 撮影者

末永 浩、山川 剛、奥村 アヤ子、池田 道明
(令和2年度からの累計：20人)



2 原爆被災写真パネル・DVDの貸出

修学旅行などの事前学習の他、写真展の開催などに役立ててもらうため、原爆被災写真パネル・DVDを無料で貸し出しています。

令和6年度 写真パネル・DVD貸出実績

区 分	写真パネル	DVD	
	件数	件数	本数
小 学 校	2	9	17
中 学 校	3	10	22
高等学校	0	12	28
一般（自治体等）	17	26	43
計	22	57	110

※1回の貸出上限は、
写真パネル…1セット
DVD…3本まで
となっています。
事前の申し込みが必要です。

3 講演会等の開催

会員及び市民に世界恒久平和への諸問題について認識を深めてもらうため講演会等を実施しています。
また、長崎市の「平和の文化キャンペーン」に参加し、イベントを開催しました。

【講演会等】

8月24日「ナガサキの郵便配達」朗読と音楽で紡ぐ平和への想い 約150人来場

【平和の文化キャンペーン関連行事】

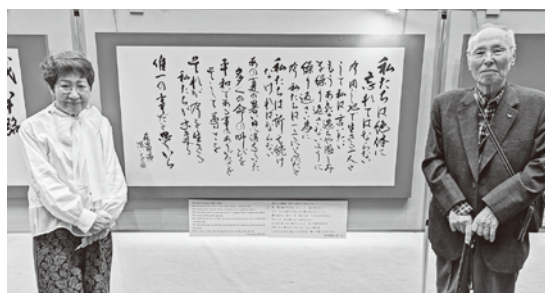
9月14日、10月12日、11月16日

ラウンジコンサート2024 約240人来場

11月2日～7日

森田孝子書道展「平和への願いを書に託して」

約3,690人来場



4 国連軍縮週間「市民のつどい」

国連軍縮週間（10月24日～30日）の行事の一環として、市民の平和意識の高揚と平和問題への認識を深めることを目的に「市民のつどい」を開催しています。

例年は、原爆写真展示や折り鶴作り、平和のメッセージを書き込むエコ風船やミニコンサートの他、戦時食の紹介や平和紙芝居の上演などを通して、平和について考える日としていますが、令和6年度は残念ながら雨天により中止となりました。



3 継承事業（長崎市からの受託事業）

① 県外原爆・平和展

長崎県外の方々に、原爆の悲惨さや平和の大切さを知ってもらい、長崎市民の核兵器廃絶の願いを伝えることを目的に実施しています。

令和6年度は、千葉県浦安市、福岡県北九州市、福岡県久山町で開催しました。

展示だけでなく、被爆体験講話会や写真資料調査部会員による展示解説も行いました。



令和6年度 開催実績

千葉県浦安市	7月18日～9月1日（約3,000人来場）
福岡県北九州市	7月27日～10月6日（67,363人来場）※4会場合計
福岡県久山町	8月3日～25日（228人来場）

② 語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）推進事業

被爆者の被爆体験を語り継ぐ「家族・交流証言者」を育成し、被爆体験の次世代への継承を推進します。令和6年度も「託したい方」と「受け継ぎたい方」を募り交流会を実施。被爆者からの体験聞き取りや講話原稿・資料作成等の支援の他、パソコン研修や話し方講座などの研修も実施しました。

派遣事業では長崎市内に派遣した他、毎月第2木曜日・第4日曜日に原爆資料館内での定期講話を実施しました。



令和6年度 実施状況

交流会：9月22日（参加者：15人）
登録者：124人（講話可能者59人、研修者65人）
講話実施回数：140回（長崎市内）

③ 青少年ピースボランティア育成事業

中学生を除く15歳から30歳未満の青少年が被爆の実相や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動することにより、被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ります。

青少年ピースフォーラムの企画・運営や出前講座、平和関連イベントでのサポート役として活躍しています。

令和6年度は福岡・鹿児島研修や沖縄研修、自主企画の学習会なども実施しました。



令和6年度 登録者数

167人（高校生 97人、大学生 52人、社会人 8人、その他 10人）



4 青少年ピースフォーラム

8月9日の平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と、地元長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで、平和意識の高揚を図ります。令和6年度は、2日間とも好天に恵まれ、予定どおり開催することができました。青少年ピースボランティアが企画・進行を担当し、参加型平和学習や原爆資料館周辺のフィールドワークなどを実施しました。



令和6年度 開催実績

実施日：8月8日・9日

参加者：37自治体 375人

長崎市（青少年ピースボランティア）91人

長崎市姉妹都市招聘事業参加者 2人（ポルト市）

5 平和学習発表会及び教材等配布

長崎市内の中学生が一堂に会し、日頃取り組んでいる平和学習の成果などの発表をとおして、各学校における生徒の平和への取り組みを発展させる機会とすることを目的に、平成18年度から実施しています。

市内の中学校28校から79人の生徒が参加。各学校での平和への取り組みについて発表し、意見を交わしました。また、市内で取り組まれている平和活動についても、青少年ピースボランティアから発表がありました。



令和6年度 開催実績

実施日：8月23日

また、市内小中学校の平和学習の機会を増やし、平和への願いを広めるため、副読本「平和ナガサキ」を作成し市内全小中学校に配布しています。この他、平和学習の推進のために、被爆体験等を伝える紙芝居やDVDを増刷し、全国の希望者に配布しました。

◆副読本

「平和ナガサキ」（小学生版・中学生版）

◆平和学習教材

紙芝居「瞳の中の子どもたち」

DVD 「瞳の中の子どもたち」（日本語・英語）

紙芝居「城山国民学校の物語」

絵本 「私たちが伝える被爆体験」





4 育成事業

① 部会活動

【継承部会（部会員 29人）】

自らの被爆体験や平和への思いなどを、「被爆体験講話」として話しています（詳細は5ページ）。講話以外にも、部会内に事業班を作り、活動しています。

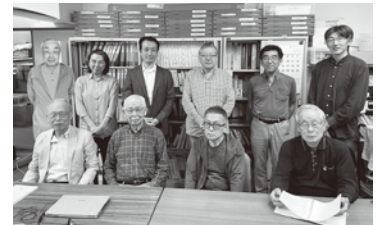
【国際交流部会（部会員 23人）】

「国際交流のつどい」では、アメリカ・カナダ・シリア・ウクライナ・ウガンダ・カザフスタン・ミャンマー・台湾出身の方のお話やグループディスカッションを行っています。さらに、被爆者や被爆4世を招いてお話を伺ったり、ポットラックパーティーやクリスマスパーティーなど楽しいイベントを通して、特に若い世代の皆さんにグローバルな視点で「平和」を考える機会を提供しています。



【写真資料調査部会（部会員 8人）】

原爆被災を記録した写真の収集・検証など、写真を通じた原爆被害の実相を伝える活動をしています。令和6年度の原爆写真展では初めて、追悼平和祈念館が主催する戦争関連アニメ映画の上映会と連動する企画を実施。学童クラブの小学生500人以上が会場を訪れ、ボランティア学生らの解説を聞きながら原爆被災写真をじっくり見てもらう絶好の機会となりました。



【音楽部会（部会員 13人）】

令和6年度は8月3日に、“世界に広がる被災地へ いまだ終わらない戦地へ音楽のエールを高らかに!!”をテーマとして「長崎平和音楽祭」を開催しました。また、8月4日に開催された「平和を祈る音楽会」では浦上天主堂で合唱しました。



② 平和案内人の育成と派遣

「平和案内人」は、長崎原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、周辺の被爆建造物等のガイドを行います。長崎原爆資料館正面玄関で待機する「常駐ガイド」、学校・個人・団体等から事前申し込みを受けての「資料館予約ガイド」「碑めぐりガイド」の3種類があり、第1～8期生171人が活動しています。

令和6年度は2年ぶりに「平和案内人・継承部会 広島合同研修」を実施しました。

◆令和6年度 活動実績

区 分	申込件数	利用者数	ガイド活動 人数（延）
常 駐 ガ イ ド	2,178件	7,243人	1,474人
資料館予約ガイド	63件	1,161人	149人
碑めぐりガイド	268件	7,483人	866人
合 計	2,509件	15,887人	2,489人

◆令和6年度 全体会

6月2日 長崎原爆記録映像を見る 講師：大矢正人

◆令和6年度 平和案内人・継承部会 広島合同研修

期 間 3月4日～5日

参加者 30人





3 国際青年平和交流事業

長崎県内の若者から「自分たちが考える国際・平和プログラム」をテーマに企画を募集し、その活動を支援するこの事業は、令和4年度から名称を変更し、募集対象や時期なども見直しを行いました。

令和6年度は、2団体を認定しました。

【令和6年度 認定事業】

活水高等学校 平和学習部 「平和のブーケ」

原爆資料館を訪れた外国人観光客らに、花びら状の紙に平和へのメッセージを書いてもらい、花の形にして1つにまとめ「平和のブーケ」を制作。多様性や人類の共生、世界平和を表現しました。



海星高等学校 国際平和交流団

「Kaisei International Exchange for Peace Program」

長崎を訪れたイタリアの高校生らと平和交流活動を行い、互いの国の歴史・文化について理解を深め、平和に対する想いを共有。日本人だけでは気づかない視点や価値観を学ぶことができました。



4 共催等・特別協力・後援事業

令和6年度 共催等

事業名	主催団体	開催日	開催場所
第34回ながさき平和大集会	核兵器廃絶地球市民長崎集会 実行委員会	7/15	長崎原爆資料館 ホール
第39回長崎平和音楽祭	長崎平和音楽祭実行委員会	8/3	長崎原爆資料館 ホール
8.9長崎原爆の日 核兵器禁止条約フォーラム 「日本の核兵器禁止条約参加 実現への課題を考える」	一般社団法人核兵器をなくす日本 キャンペーン	8/9	追悼平和祈念館 交流ラウンジ
第16回～語り合おう in Nagasaki ～ 外国人による日本語弁論大会	外国人による日本語弁論大会 実行委員会	10/19	追悼平和祈念館 交流ラウンジ
第7回核兵器廃絶・地球市民集会ナガサキ 「地球市民フェス2024」	核兵器廃絶地球市民長崎集会 実行委員会	11/23～24	長崎スタジアムシティ HAPPINESS ARENA

令和6年度 特別協力

事業名	主催団体	開催日	開催場所
日本被団協 ノーベル平和賞受賞記念 長崎平和フォーラム	長崎原爆被災者協議会	3/8	長崎ブリックホール 国際会議場

令和6年度 後援

事業名	主催団体	開催日	開催場所
微笑と希望をナガサキ・ヒロシマに	シュモーンに学ぶ会・ Ryokoの布遊び (山崎良子)	4/12～16	コクラヤギャラリー 4階
ピースボート Voyage117 「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」	ピースボート	4/13～7/26	横浜港発着
市民公開講座 in 長崎 ～親の被爆と子どもの健康～	公益財団法人放射線影響研究所	4/20	長崎市立図書館 多目的ホール



事業名	主催団体	開催日	開催場所
原爆写真展ユースボランティア	Studio One Nagasaki	6/15～11/30	追悼平和祈念館 交流ラウンジ他
Kwibuka30 in Nagasaki	NPO法人ルワンダの教育を考える会	6/17	長崎原爆資料館 ホール
第71回 長崎原爆忌平和祈念俳句大会	長崎原爆忌平和祈念俳句大会 実行委員会	7/20	長崎原爆資料館 平和学習室
第6回 ナガサキ映画と朗読プロジェクト	ナガサキ映画と朗読プロジェクト 実行委員会	7/20～21	長崎原爆資料館 ホール
第62回原爆忌文芸大会	NPO法人長崎国際文化協会	8/3 (展示 8/2～8)	長崎ブリックホール 2階・3階
第6回長崎平和祈念茶会	長崎平和祈念茶会実行委員会	8/4	長崎原爆資料館 いこいの広場
ミライの平和活動展	NIB長崎国際テレビ 東京大学大学院渡邊英徳研究室ほか	8/4～8	長崎市役所 2階
被爆79周年祈念 「平和の祈りキッズゲルニカ in ながさき」 国際子ども平和壁画展	長崎親善人形の会（瓊子の会）	8/6～28	原爆落下中心地公園 下の川
被爆79年 連合2024平和ナガサキ集会	日本労働組合総連合会	8/8	長崎県立総合体育館 メインアリーナ
長崎大学と広島大学によるサッカー交流試合 (Peace Match)	長崎大学サッカー部	8/10～11	広島市
川村奈美子ピアノリサイタル ～平和を願って～	一般社団法人アルテ・クラシカ協会	10/19	長崎大学 長崎創楽堂
第14回体験記企画展 「幼い姉弟が見た広島・長崎」	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	10/20～31 12/20～1/14	追悼平和祈念館 交流ラウンジ
Christmas Charity Live Tour 2024 (原田 真二)	株式会社エアーフィールド	12/3	旧香港上海銀行 長崎支店記念館 多目的ホール
長崎・市民平和熟議 ～心を開いた対話の場の創設～	長崎・市民平和熟議実行委員会	12/14	出島メッセ長崎会議室

5 秋月グラント

平成10年、当協会設立15周年を機に「ナガサキ平和創設グラント」を創設し、平和意識高揚のための事業などを行う団体や個人を助成してきました。

平成16年、協会の初代理事長である故・秋月辰一郎氏を顕彰しようという機運が高まり、「秋月グラント」と名称を改め、多くの方々に助成制度を利用していただけよう門戸を広げました。

令和6年度 秋月グラント事業助成状況

申請者	事業名	実施期間	実施場所
Studio One Nagasaki	継承フォトワークショップ	7月～2月	長崎市
7%erとなかまたち	アートバッグ・ピース・プロジェクト2024	8月～1月	長崎市
石田 久美	ロサンゼルスウェストリッジスクールで 原爆平和講話	9月	アメリカ
小川内 清孝	平和朗読用物語の制作発表会（上演）の開催	1月	長崎市



Ⅱ 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（主な事業の紹介）

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づいて平成15年に開館した「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の施設管理と事業運営を国から受託し、様々な事業を行っています。

原爆死没者の氏名・遺影の登録及び死没者名簿の保管

原爆死没者を追悼するとともに、永遠の平和を祈念するため、氏名・写真（遺影）を収集し、登録のうえ館内で公開しています。また、原爆死没者の氏名を記載した「原爆死没者名簿」を追悼空間に保管しています。

令和6年度も、長崎県・市と連携して、氏名・遺影の登録に取り組みました。

令和6年度実績：343人（累計11,215人）



追悼空間

被爆体験記などの収集・整理・公開

原爆の惨状を多くの人に伝えるため、被爆者が書かれた被爆体験に関する手記・日記・書簡や、遺族・友人らによる追悼記などを集めています。収集した被爆体験記は、遺影・手記閲覧室内の情報端末機器などで公開・展示しています。

令和6年度実績（体験記収集）：81人分（累計746人分）

企画展の開催

所蔵する被爆体験の中からテーマを定めて選出し、英語・韓国語・中国語に翻訳し、展示します。

令和6年度は、広島・長崎で二重被爆した姉弟にスポットをあて、ご本人が描いた原爆の絵と手記及び証言ビデオをとおして、二人の想像を絶する体験と記憶をたどる展示をしました。

また、被団協のノーベル平和賞受賞を記念し、その活動の先頭に立ち続けた被爆者の方の体験記や関連図書、証言ビデオをとおして、核兵器廃絶運動の取り組み、平和への思いを伝える展示をしました。

令和6年度実績：「若い姉弟が見た広島・長崎」
（10月20日～31日、12月20日～1月14日）
「体験記が伝える 被爆者の思い」
（令和7年1月22日～開催中）



被爆体験記執筆補助

「被爆の記憶を体験記として残したいけれど、自分一人では文章にまとめられない」という被爆者の方を対象として、平成17年度から聞き取りと代筆を実施しています。

令和6年度実績（聞き取り）：22人（累計212人）

被爆者証言ビデオ等の制作

被爆の実相を後世に伝えていくために、被爆体験に係る証言ビデオを製作・収集し、館内で閲覧に供するほか、「グローバルネット」等で公開しています。

令和6年度実績：国内10人、海外3人（累計557人）

被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」育成・派遣

被爆体験記の朗読によって被爆体験を継承することを目的として、平成23年度から実施しています。

令和6年度は、常駐朗読・毎月9日開催の「9日を忘れない」を開催するとともに、初の祈念館外での定期朗読会として、地球市民フェスに出演しました。また、市内の小中学校（計6校）に朗読指導も実施し、令和4年度より募集している若者朗読サポーター U-25だけが出演する朗読会も実施しました。

令和6年度実績：常駐朗読117日、派遣朗読58回、定期朗読会14回





家族・交流証言者等派遣

被爆の実相、平和への想いを次世代に語り継ぐため、平成30年度から「家族・交流証言者」および「被爆体験記朗読ボランティア」を全国へ無料で派遣しています。令和2年度からは「被爆者」の方の派遣を、令和5年度からは東京都国立市が養成した「原爆体験伝承者」の派遣も開始しました。

令和6年度実績：204件（被爆体験講話18件、家族・交流証言講話140件、被爆体験記朗読会32件、国立市14件）

平和ボランティア育成外国語講座

原爆資料館や追悼平和祈念館などを外国語で案内するボランティアガイドを育成しています。

令和6年度実績（修了者）：英語10人、韓国語9人、中国語6人

ピースネットの実施

祈念館と遠隔地の学校や団体などとインターネット会議システムで結び、被爆体験講話等を実施しています。

令和6年度実績：24回（うち3回海外）

海外原爆展の開催

被爆の実相を広く世界に伝えるため、被爆60周年にあたる平成17年度から実施しています。

令和6年度は、令和5年度に引き続き、4月1日から5月2日までジョージア（旧グルジア）のシグナギ市で、8月29日からはカザフスタン共和国アルマティ市のカザフスタン国立中央博物館とナルホーズ大学の2か所で巡回展を実施し、カザフスタン国立中央博物館での開会式には職員が出席しました。被爆体験講話については、オンライン（1回）で実施しました。

令和6年度実績：ジョージア・シグナギ市（シグナギ国立博物館）	4月1日～5月2日（2,354人来場）
カザフスタン・アルマティ市（カザフスタン国立中央博物館）	8月29日～9月12日（3,225人来場）
カザフスタン・アルマティ市（ナルホーズ大学）	9月16日～28日（2,800人来場）

若者による平和ネットワーク構築プログラム

若者による平和ネットワークの構築・拡大を目指し、平成22年度から実施しています。

令和6年度は初めての試みとして、海外原爆展を開催したジョージアと開催前のカザフスタンから指導者と学生を招聘し海外原爆展のガイド研修を実施しました。

令和6年度実績：8月18日～22日 参加者：ジョージア3人、カザフスタン3人

国際平和映画祭の開催

映画を通じて平和の大切さや被爆の継承について考える契機として、原爆や平和をテーマにした映画を上映します。

令和6年度は、初の試みとして、当協会の写真資料調査部会の「原爆写真展」との共催で、学童クラブを中心とした子供向け映画上映会を実施しました。

令和6年度実績：7月22日～8月2日 上映作品「チョッちゃん物語」「ぞう列車がやってきた」

「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化事業の実施

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）と協働し、一般の方から提供された写真等をデジタル化し、学生向けの教材としてインターネットで国内外の大学に提供するなど、若い世代への被爆の実相を伝える取り組みを実施しています。

令和6年度は、「被爆前の長崎」の写真を活用した平和教育教材3本を英訳し公開しました。また、令和4年度に制作した「航空写真アーカイブ」を拡充し、これらの教材やアーカイブを活用したフィールドワークを実施しました。

被ばく医療関連情報の収集・整理・提供（被爆者健康講話）

長崎大学医歯薬学総合研究科（原爆後障害医療研究所国際保健医療福祉学研究分野）の協力のもと、被ばく医療研究の成果として、高齢となる被爆者の健康維持に資する情報を親しみやすいテーマにして提供しています。また、講話の様子を録画して、祈念館Webサイトで閲覧に供しています。

令和6年度実績：10回

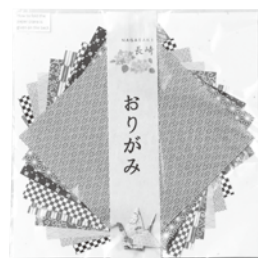


Ⅲ 収益事業（図書など販売）

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、原爆に関する書籍や平和グッズを作製し、原爆資料館の売店、協会オンラインShop、市内の書店で販売しています。

令和6年度は、国際クルーズ船の長崎入港がコロナ禍前の水準近くまで回復したことから、原爆資料館への外国人観光客も多く「Peaceな ねこ」シリーズと共に「おりがみ」や「Tシャツ」の販売が好調でした。

協会オンラインShopではクレジットカードや電子マネーでの決済が可能です。



Shopサイトは
コチラから

【協会発行の出版物・オリジナル商品など取扱商品一覧】

- 書籍等
- ・長崎の原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ
 - ・ながさき原爆の記録
 - ・長崎原爆資料館 資料館見学・被爆地めぐり「平和学習」の手引書
 - ・ピーストークきみたちにつたえたい（くりかえすまいナガサキの体験）
 - ・ながさき平和学習ナビ（げんばくってなんだろう？）
 - ・長崎原爆A to Z
 - ・ナガサキの記憶（中国語版）
 - ・紙芝居「嘉代子桜」

- グッズ
- ・絵はがき（長崎原爆資料館）
 - ・おりがみ
 - ・折り鶴ストラップ
 - ・キーホルダー
 - ・クリアホルダー（4色）
 - ・ピンバッジ
 - ・トートバッグ
 - ・マグネット
 - ・PeaceロゴTシャツ（3種）
 - ・ミニタオル（あじさい柄2色・折鶴柄2色）
 - ・ピースTシャツ
 - ・「Peaceな ねこ」シリーズ〔Tシャツ、エコバッグ、クリアホルダー、缶バッジ〕

理事・評議員・監事について

令和6年度（令和7年3月31日）

理事長	調 漸	評 議 員	阿波村 功一	評 議 員	小淵 義輝
副理事長	升本 由美子	//	五十嵐 大輔	//	白石 邦俊
//	三根 眞理子	//	磯部 翔	//	中島 三博
理 事	飯沼 智	//	今村 美由起	//	野崎 健太
//	井上 琢治	//	大嶋 真由子	//	船本 貴之
//	岩満 由美	//	大矢 正人	//	本田 勝一郎
//	佐藤 峻	//	神崎 真一	//	松尾 恵子
//	田中 重光	//	北野 健一郎	//	吉井 剛
//	縄本 恵太	//	久間 哲彦	//	渡部 明
//	本田 魂	//	久保 純一	監 事	相沢 有毅
//	山田 貴己	//	桑原 伸良	//	佐藤 宏文

<五十音順>



公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き

4月

- 1日 海外原爆展（～5月2日・ジョージア）
- 9日 「9日を忘れない」朗読会（毎月9日開催）
- 11日 家族・交流証言 定期講話（毎月第2木曜日開催）
- 18日 第1回 継承部会総会
- 22日 第1回 臨時理事会（書面決議）
- 27日 青少年ピースボランティア オリエンテーション
- 28日 家族・交流証言 定期講話（毎月第4日曜日開催）



「9日を忘れない」朗読会

5月

- 8日 第1回 臨時評議員会（書面決議）
- 17日 監事監査
- 21日 第1回 三役会
- 28日 第2回 通常理事会



家族・交流証言定期講話

6月

- 2日 平和案内人全体会
- 8日 被爆証言映像「8月9日の記憶」上映会
- 13日 被爆者健康講話（翌年3月まで 毎月原則第3木曜日開催）
- 18日 第2回 定時評議員会、第1回 運営会議

7月

- 18日 県外原爆・平和展（千葉県浦安市）（～9月1日）
- 22日 被爆79年ナガサキ原爆写真展 & 映画上映会（～8月2日）
- 27日 県外原爆・平和展（福岡県北九州市）（～10月6日）



ナガサキ原爆写真展&映画上映会

8月

- 3日 県外原爆・平和展（福岡県久山町）（～25日）
- 3日 第39回 長崎平和音楽祭
- 8日 青少年ピースフォーラム（～9日）
- 18日 若者による平和ネットワーク構築プログラム（～22日）
- 22日 第3回 臨時理事会（書面決議）
- 23日 平和学習発表会
- 24日 「ナガサキの郵便配達」朗読と音楽で紡ぐ平和への想い
- 28日 第2回 継承部会総会
- 29日 海外原爆展（～9月28日・カザフスタン）



「ナガサキの郵便配達」
朗読と音楽で紡ぐ平和への想い

9月

- 5日 第3回 臨時評議員会（書面決議）
- 14日 ラウンジコンサート vol.1 「Music Garden Pray & Play」
- 22日 家族・交流証言 交流会
- 28日 平和の灯



10月

- 5日 被爆体験を語り継ぐ永遠の会 3期生育成講座開始
(～令和7年3月1日)
- 12日 ラウンジコンサート vol.2 「Music Garden Pray & Play」
- 19日 外国人による日本語弁論大会
- 20日 被爆体験記企画展「幼い姉弟が見た広島・長崎」
(～10月31日)
- 26日 国連軍縮週間 市民のつどい(雨天中止)



海外原爆展(カザフスタン)

11月

- 2日 森田孝子書道展「平和への願いを書に託して」(～7日)
- 16日 ラウンジコンサート vol.3 「Music Garden Pray & Play」
- 23日 地球市民フェス2024 (～24日)
- 24日 永遠の会定期朗読会「朗読と音楽の調べ」
(地球市民フェス2024)



地球市民フェス2024

12月

- 20日 被爆体験記企画展「幼い姉弟が見た広島・長崎」再展示
(～令和7年1月14日)

1月

- 22日 被団協ノーベル平和賞受賞記念 特別企画展
「体験記が伝える 被爆者の思い」(～開催中)
- 25日 青少年ピースボランティア 福岡・鹿児島研修(～26日)

2月

- 22日 青少年ピースボランティア 沖縄研修(～24日)

3月

- 4日 平和案内人・継承部会 広島合同研修(～5日)
- 7日 第2回 三役会
- 8日 日本被団協ノーベル平和賞受賞記念「長崎平和フォーラム」
- 9日 市民対象碑めぐり(継承部会)
- 14日 第4回 通常理事会
- 18日 第3回 継承部会総会
- 20日 被爆体験を語り継ぐ永遠の会 被団協ノーベル平和賞受賞記念
特別企画展朗読会
- 22日 国際青年平和交流事業 成果報告会
- 22日 青少年ピースボランティア 県外研修報告会



青少年ピースボランティア・沖縄研修



長崎平和フォーラム

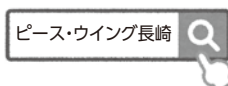


ピース・ウイング長崎
平和のあゆみ
(令和6年度 事業報告)

2025年5月発行

公益財団法人 長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7番8号
電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
URL:<https://www.peace-wing-n.or.jp/>





V・ファーレン ピースサポーター

長崎平和推進協会SNS



ウェブサイト



公式LINE



公式Instagram



公式YouTube

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



核兵器廃絶と世界恒久平和を目指して活動
を続けている当協会では、SDGsの目標16
「平和と公正をすべての人に」に取り組み、
みんなが安心して参加できる平和な社会を
作るべく、活動していきます。